

日本菌学会第59回大会（沖縄）プログラム

主催：日本菌学会
日本菌学会会長 山岡裕一
日本菌学会第59回大会会長 寺嶋芳江（琉球大学）
期日：2015年5月15日（金）～18日（月）
会場：那覇市ぶんかテンプス館3階, 4階
〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3丁目2番10号 TEL：098-868-7810
（18日には現地視察）
大会事務局：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学農学部亜熱帯地域農学科
植物生産科学分野家畜衛生学講座
日本菌学会第59回大会事務局長 佐野文子
TEL・FAX：098-895-8762 E-mail：msjmeeting59@mycology-jp.org

日程：

5月15日（金）

9:30～12:00 編集委員会（那覇市ぶんかテンプス館3階・会議室1, 2）
12:30～14:30 理事会（那覇市ぶんかテンプス館3階・会議室1, 2）
14:30～17:00 評議員会（那覇市ぶんかテンプス館3階・会議室1, 2）
17:30～19:30 合同懇親会

5月16日（土）

9:00～ 受付（那覇市ぶんかテンプス館4階・入口付近）
9:30～10:30 総会（那覇市ぶんかテンプス館4階・テンプスホール）
10:30～12:00 各賞授与式および受賞講演（那覇市ぶんかテンプス館4階・テンプスホール）
13:00～15:20 市民公開シンポジウム「沖縄の食卓を豊かにする菌類たち」（那覇市ぶんかテンプス館4階・テンプスホール）
泡盛製造に関わる微生物たち 国立大学法人琉球大学教授 外山博英氏
紅麹菌と豆腐よう 国立大学法人琉球大学名誉教授 安田正昭氏
沖縄県の食用きのこについて 公益社団法人沖縄県緑化推進委員会 宮城健氏
15:30～16:30 ポスター発表コアタイム（那覇市ぶんかテンプス館3階・ギャラリー, 会議室1と2）
18:00～20:00 懇親会（沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ7階・シェルホール）

5月17日（日）

9:00～ 受付（那覇市ぶんかテンプス館4階・入口付近）
9:30～12:00 口頭発表（那覇市ぶんかテンプス館4階・テンプスホール）
12:30～13:30 ポスター発表コアタイム（那覇市ぶんかテンプス館3階・ギャラリー, 会議室1と2）
13:30～16:00 口頭発表（那覇市ぶんかテンプス館4階・テンプスホール）
16:00～17:00 閉会式（那覇市ぶんかテンプス館4階・テンプスホール）

5月18日（月）希望者のみ

集合8時, 那覇空港着16時頃

現地検討会（産官学連携による沖縄独特の微生物応用事例視察）

大会案内

1. 受付

事前登録参加者、当日参加者、招待参加者、いずれの方も必ず受付で手続きを行ってください。受付は、5月16日（土）9:00から、那覇市ぶんかテンプス館4階入口にて行います。

当日参加費は以下の通りです。当日受付の懇親会参加希望者はなるべく事前に大会事務局にお申し込みください。

- ・大会参加費（講演要旨集代を含む）
 - 通常会員 8,000 円
 - 学生会員 6,000 円
 - 非会員 9,000 円
- ・懇親会参加費
 - 通常会員および非会員 8,000 円
 - 学生会員 4,000 円
- ・講演要旨集のみ 1部 2,000 円

2. 名札

領収書兼用の名札は当日、受付でお受け取りください。

3. 口頭発表

- ・口頭発表の持ち時間は15分（12分発表，3分討論）です。
- ・発表はWindows 7，MS PowerPoint 2010 を用いておこないますので，それ以降のバージョンで動作確認してください。
- ・ファイル名は，講演番号+講演者氏名.ppt としてください。（例：A01 講演者.ppt）
- ・発表用のファイルサイズは7.5 Mb 以下で作成してください。
- ・発表用のファイルはCDにてお持ち下さい。
5月17日午前の発表者は5月16日10：00～14：00，5月17日午後の発表者は5月17日9:30～11:30の間に，大会受付横のスライド受付デスクにお越しの上，担当者にCDをお渡し下さい。
- ・発表用ファイルは大会後に実行委員会で責任を持って削除いたします。講演中のコンピュータ操作はご自身でおこなっていただきます。

4. ポスター発表

・ポスターは縦長で，大きさは縦118cm×横84cmの範囲（分割された形でご準備されますと，それぞれを粘着テープでつなげて，1枚にしてから貼り付けることとなりますので，1枚に作成されることをお勧めします。）で収まるように作製してください。

・那覇市ぶんかテンプス館3階・ギャラリー、会議室1と2の所定発表番号のパネルに備え付けのマグネット，あるいはピンで掲示してください。壁によってマグネットあるいはピンとなりますので，注意してください。

・演題番号が奇数の発表コアタイムは5月16日（土）15:30～16:30，演題番号が偶数の発表コアタイムは5月17日（日）12:30～13:30です。

・発表コアタイムには，必ずポスター前に立ってご発表ください。

・ポスターは17日（日）16:00 までに撤去してください。それ以降残っているポスターは廃棄します。

・マグネットやピンは所定の場所にご返却ください。

5. 昼食

・会場周辺是那覇市の中心街であり，多くのレストラン，コンビニがあります。

・お弁当などの飲食は休憩室でお願いいたします。会場内は休憩室以外すべて飲食厳禁です。

6. 休憩室（那覇市てんぶす館3階，和室（チーム未来の家））

飲食などに自由にご利用いただけます。なお，飲料のご用意はございません。館内自動販売機などをご利用ください。

7. 喫煙

・建物ではデッキを含めて原則禁煙です。4階ホールと事務所をつなぐウッドデッキに灰皿が1つだけあります。そちらでのみ喫煙可能です。

8. アマチュア展示

・「日本菌学会第59回大会 アマチュア研究者の取り組み2015-日本の菌学のさらなる発展を目指して-」を那覇市ぶんかテンプス館3階・会議室1で行います。

・一部の展示を那覇市ぶんかテンプス館4階・舞台裏の暗くなる部屋で行います。

9. 現地検討会（産官学連携による沖縄独特の微生物応用事例視察）

・希望者のみの参加です。

・ヘリオス酒造（名護市），きのこセンター金武（金武町）を視察します。

・5月18日（月）8:30沖縄県庁前県民広場集
合，那覇空港国内線ターミナルビル15：20
～16：00頃到着予定です。

大会実行委員会

大会会長

寺嶋 芳江（琉球大学熱帯生物圏研究セ
ンター）

事務局長

佐野 文子（琉球大学農学部）

実行委員（アルファベット順）

服部 力（森林総合研究所）

亀山 統一（琉球大学農学部）

喜友名 朝彦（株式会社テクノスルガ・
ラボ 技術部）

小林 孝人（北海道大学総合博物館資料
部）

古波蔵 みな子（沖縄県森林管理課）

栗原 祐子（オーピーバイオファクトリ
ー株式会社 うるま研究所）

盛口 満（沖縄大学人文学部）

田場 聡（琉球大学農学部）

田中 栄爾（石川県立大学生物資源環境
学部）

谷口 真吾（琉球大学農学部）

外山 博英（琉球大学農学部）

山中 高史（森林総合研究所）

日本菌学会第59回大会(沖縄)プログラム

5月16日(土)

時刻	A会場(那覇市ぶんかテンプス館 4F テンプスホール)		
9:30	総会		
10:30	<p>各賞授与式・受賞者講演</p> <p>日本菌学会賞 座長 矢口行雄 東京農業大学</p> <p>AW1 オフィオストマ様菌類の分類、生態および樹木に対する病原性に関する研究 山岡裕一 筑波大学生命環境系</p> <p>日本菌学会奨励賞 座長 山岡裕一 筑波大学</p> <p>AW2 外生菌根菌 <i>Cenococcum geophilum</i> の系統学的多様性と隠蔽種について 小長谷啓介 フロリダ大学</p> <p>AW3 枯死木分解に関わる菌類群集の動態と機能に関する研究 深澤遊 東北大学大学院農学研究科</p>		
12:00	昼休み		
	A会場	B会場	C会場
13:00	<p>市民公開シンポジウム 沖縄の食卓を豊かにする菌類たち</p> <p>座長 矢口貴志 千葉大学真菌医学研究センター</p> <p>趣旨説明 寺嶋芳江 琉球大学</p>	<p>ポスター発表</p> <p>アマチュア研究者の取り組み</p>	<p>ポスター発表</p>
13:10	<p>S1 泡盛製造に関わる微生物たち</p> <p>外山博英 琉球大学</p>		
13:50	休憩		
13:55	<p>S2 紅麹菌と豆腐よう</p> <p>安田正昭 琉球大学</p>		
14:35	休憩		
14:40	<p>S3 沖縄県の食用きのこについて</p> <p>宮城健 公益社団法人沖縄県緑化推進委員会</p>		
15:30	15:30～16:30 ポスター発表コアタイム(奇数番号)		
18:00	懇親会(沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ7階・シェルホール)		

5月17日(日)

	A会場	B会場	C会場
時刻	座長 服部力		
9:30	A01 大規模遺伝子配列の分子系統解析から明らかになる外生菌根菌オニイグチ属の種多様化の起源 ○佐藤博俊 ¹ ・田辺晶史 ² ・東樹宏和 ³ (¹ 京都大生態研セ; ² 水研セ中央水研; ³ 京都大院人環)	ポスター発表 アマチュア研究者の取り組み	ポスター発表
9:45	A02 本州中部山岳地域におけるヒメカバイロタケ属菌の多様性 ○糟谷大河 ¹ ・池田美紀 ¹ ・黒川悦子 ² ・橋屋誠 ² ・保坂健太郎 ³ (¹ 千葉科学大危機管理; ² 富山県中央植物園; ³ 国立科博)		
10:00	A03 <i>Corilopsis</i> 属と類似属の分子系統関係について ○的崎利規 ¹ ・服部力 ² ・前川二太郎 ¹ ・中桐昭 ¹ ・太田祐子 ² ・早乙女梢 ¹ (¹ 鳥取大農; ² 森林総研)		
10:15	A04 沖縄産ハラタケ目およびヒダナシタケ目菌数点について ○小林孝人 ¹ ・Hoang ND Pham ² ・高橋春樹 ³ ・寺嶋芳江 ¹ (¹ 琉球大熱生研; ² Biotechnology Center of Ho Chi Minh City; ³ 石垣市)		
	座長 青木孝之		
10:30	A05 <i>Metarhizium</i> 属糸状菌における分生子鎖の頑強性(切れにくさ)の多様性 ○西大海 ^{1,2} ・佐藤大樹 ² (¹ 学振PD; ² 森林総研)		
10:45	A06 世界中のハウスタストから分離された <i>Phoma</i> 様菌類 ○廣岡裕吏 ^{1,2} ・Cobus M. Visagie ^{1,2} ・Joey B. Tanney ³ ・Hai D.T. Nguyen ² ・Satpal Bilkhu ¹ ・Ed Whitfield ¹ ・Kalima N. Mwangi ¹ ・Anthony Amend ⁴ ・Robert Samson ⁵ ・Keith A. Seifert ^{1,2,3} (¹ カナダ農務農産食品省; ² オタワ大; ³ カールトン大; ⁴ ハワイ大; ⁵ オランダ王立アカデミー菌類多様性センター)		
11:00	A07 Species identification of corn downy mildew fungi isolated from Thailand ○P. Janruang and J. Unartngam (Kasetsart Univ. Kamphaeng Saen, Thailand)		
11:15	A08 Morphological analysis of <i>Trichoderma gamsii</i> as using different nitrogen sources via atransmittance electron microscope ○J-H. Hong, M. Min, G-H. Kim, J-J. Kim (Korea Univ.)		
	座長 稲葉重樹		
11:30	A09 国内より得られたアツギケカビ属の3未記載種 ○山本航平 ^{1,2} ・出川洋介 ³ ・山田明義 ¹ (¹ 信州大農; ² 学振DC; ³ 筑波大菅平)		
11:45	A10 稀産種 <i>Physarum puniceum</i> の観察された環境と子実体形成過程 ○矢島由佳 ¹ ・星野保 ² (¹ 京都大; ² 産総研)		
12:00	昼休み		
12:30	12:30~13:30 ポスター発表コアタイム(偶数番号)		

5月17日(日)

	A会場	B会場	C会場
時刻	座長 広瀬大		
13:30	A11 コツブタケを接種したクロマツ分根培養系の炭素転流に土壌中の窒素濃度差が与える影響 ○吉田尚広・松下範久(東京大院農)	ポスター発表 アマチュア研究者の取り組み	ポスター発表
13:45	A12 イチヤクソウ属植物の存在が周辺の他種植物の菌根菌に与える影響 ○橋本 靖 ¹ ・堤 光平 ¹ ・Marc-André Selosse ² (¹ 帯広畜産大; ² パリ国立自然史博)		
14:00	A13 宿主群集, 環境条件, 空間距離が標高傾度に伴う外生菌根菌群集組成の変化に与える影響 ○松岡俊将 ¹ ・森章 ² ・川口恵里 ³ ・保原達 ⁴ ・大園享司 ¹ (¹ 京都大生態研センター; ² 横浜国立大; ³ 京都大; ⁴ 酪農学園大)		
14:15	A14 東南アジア熱帯林における多孔菌子実体-甲虫群集の食物網構造 ○山下 聡 ¹ ・安藤清志 ² ・伊藤昇 ³ ・片山雄史 ⁴ ・川那部真 ⁵ ・保科英人 ⁶ ・丸山宗利 ⁷ ・市岡孝朗 ⁸ (¹ 徳島大; ² 愛媛大; ³ Trend Tone Imaging; ⁴ 高知市; ⁵ 株式会社人と自然の環境研究所; ⁶ 福井大; ⁷ 九大博物館; ⁸ 京都大)		
	座長 亀山統一		
14:30	A15 南極におけるガマノホタケによる雪腐病 ○星野保 ^{1,2} ・東條元昭 ³ ・陳波 ⁴ ・G. Larsen ⁵ (¹ 産総研; ² 広島大院先端物質; ³ 大阪府立大院生物環境; ⁴ 中国極地研; ⁵ アラスカ大)		
14:45	A16 自然条件下のスギ雄花における <i>Sydowia japonica</i> の感染状況 ○高橋由紀子・窪野高德(森林総研)		
15:00	A17 南根腐病菌 <i>Phellinus noxius</i> に対する3種薬剤の効果 ○佐橋憲生 ¹ ・秋庭満輝 ¹ ・太田祐子 ¹ ・亀山統一 ² ・伊藤俊輔 ³ (¹ 森林総研; ² 琉球大; ³ 沖縄県森林資源研究センター)		
15:15	A18 簡易混合製剤(未利用植物抽出液および天敵微生物)を用いた根こぶ線虫病の防除 ○安次富厚 ¹ ・田場聡 ² ・安次富由乃 ³ (¹ 沖縄防技セ・ ² 琉球大・ ³ 沖縄農研セ名護)		
	座長 吹春俊光		
15:30	A19 今関六也氏菌類図譜の学術的重要性 ○大坪(小出)奏 ¹ ・折原貴道 ¹ ・出川洋介 ² (¹ 神奈川県博; ² 筑波大菅平)		
15:45	A20 日本の菌類固有種リスト作成にむけて: GBIF データを用いた非固有性の検証 ○細矢剛 ¹ ・埋橋志穂美 ¹ ・工藤伸一 ² (¹ 国立科博; ² 青森市赤坂)		
16:00	閉会式		

ポスター発表 コアタイム:5月16日(土)15:30~16:30(奇数番号);5月17日(日)12:30~13:30(偶数番号)

P001	<p>ヒトの病原性 <i>Aspergillus</i> の分類学的研究</p> <p>○堀江義一¹・松澤哲宏²・矢口貴志¹・五ノ井透¹・Paride Abliz³(¹千葉大真菌センター;²長崎県立大;³新疆医大、中国)</p>
P002	<p>交配試験を用いた <i>Aspergillus</i> の種の範囲について</p> <p>○松澤哲宏¹・上田成一¹・矢口貴志²・五ノ井透²・Paride Abliz³・堀江義一² (¹長崎県立大;²千葉大・真菌センター;³新疆医科大、中国)</p>
P003	<p><i>Aspergillus novofumigatus</i> の第二次代謝産物の立体化学に関する考察</p> <p>○石川和樹¹・若菜大悟¹・武田尚¹・矢口貴志²・細江智夫¹(¹星薬大;²医真菌セ)</p>
P004	<p>コーヒー生豆から分離される真菌の迅速同定法の開発</p> <p>○矢口貴志¹・清水由巳²・細谷幸一³・富山大輔³・中山素一⁴(¹千葉大真菌センター;²関東学院大理工;³花王(株)安全研;⁴花王(株)ヘルスケア研)</p>
P005	<p>ニュージーランドおよび米国オレゴン州のカモガヤから分離された、ニバレノールを産生する <i>F. graminearum</i> 種複合体の新規菌種</p> <p>○青木孝之¹・M.M. Vaughan²・S.P. McCormick²・M. Busman²・T.J. Ward²・A. Kelly²・K. O'Donnell²・P.R. Johnston³・D.M. Geiser⁴(¹生物研;²NCAUR, USDA-ARS;³Landcare Research Manaaki Whenua;⁴ペンシルバニア州立大)</p>
P006	<p>Identification of <i>Fusarium</i> species parasitic on various plant species based on ITS rDNA and Tef-1 α gene sequence analysis</p> <p>○B. Sritongkam, J. Unartngam. (Kasetsart Univ. Kamphaeng Saen, Thailand)</p>
P007	<p>ヒノキ科樹木に寄生する <i>Phoma pilospora</i> の分類学的再検討とエピソードの確立</p> <p>○服部友香子¹・中島千晴²・田中和明³・本橋慶一⁴(¹東京農大森林;²三重大院生資;³弘前大生命;⁴東京農大地域)</p>
P008	<p>高松塚・キトラ両古墳の石材から分離された <i>Cladophialophora</i> 属分離株の同定</p> <p>○喜友名朝彦¹・安光得^{1,2}・木川りか³・佐野千絵³・杉山純多⁴(¹テクノスルガ・ラボ;²現所属 マクロジェン・ジャパン;³東京文化財研究所;⁴テクノスルガ・ラボ 千葉分室)</p>
P009	<p>外生菌根菌 <i>Cenococcum geophilum</i> の菌核から分離培養された <i>Cladophialophora</i> 属の2新種について</p> <p>○小長谷啓介¹・Greg W Douhan²・松田陽介³・Matthew E Smith¹(¹フロリダ大;²カリフォルニア大;³三重大院生資)</p>
P010	<p>古い乾燥標本を用いた小房子囊菌の遺伝子系統解析の試み</p> <p>○三川隆¹・藤原恵利子¹・二瓶博義¹・山下知成¹・遠藤成朗¹・指田玲子²(¹LSI メディエンス;²三菱化学フーズ)</p>
P011	<p>カシ類から分離された <i>Apiognomonina supraseptata</i> など菌類3種の形態的・培養的特徴</p> <p>○金子繁¹・佐藤豊三¹・青木孝之¹・澤田宏之¹・永井利郎¹・一木(植原)珠樹¹・神田多²(¹生物研;²NPO みどりのお医者さん)</p>
P012	<p>ブナ属に寄生する <i>Neohendersonia</i> 属菌の分類学的検討 (2)</p> <p>○松村美里¹・加藤航¹・橋本陽^{1,2}・René K. Schumacher³・高橋由紀子⁴・白水貴⁵・田中和明¹(¹弘前大;²岩手連大;³Fürstenwalde/Spree, Germany;⁴森林総研;⁵科博植物・学振PD)</p>
P013	<p>日本およびヨーロッパにおけるブナ属寄生菌類の比較</p> <p>○田中和明¹・秋山楓¹・中村史哉¹・松村美里¹・橋本陽^{1,2}・René K. Schumacher³・高橋由紀子⁴・細矢剛⁵(¹弘前大;²岩手連大;³Fürstenwalde/Spree, Germany;⁴森林総研;⁵科博)</p>

P014	<i>Pseudopezalotiopsis</i> 属菌の新種とエピタイプ の提案 ○野澤俊介 ¹ ・リー ティ ホアン イェン ² ・安藤勝彦 ³ ・ズオン バン ホップ ² ・渡辺京子 ^{1,4} (¹ 玉川大農; ² ベトナム国家大学ハノイ校 微生物学・遺伝工学研究所; ³ NITE バイオ; ⁴ 玉川大菌学応用)
P015	<i>Cryptocoryneum</i> 属菌の分類学的再検討 ○橋本陽 ^{1,2} ・田中和明 ¹ (¹ 弘前大農生; ² 岩手連大)
P016	Diversity of soil- and wood-derived <i>Trichoderma</i> and new records: <i>Trichoderma albolutescens</i> , <i>T. asperelloides</i> and <i>T. orientale</i> in Korea ○S. Jang ¹ , Y. Jang ² , G.-H. Kim ¹ , J.-J. Kim ¹ (¹ Korea Univ.; ² Seoul Nat. Univ.)
P017	日本産菌寄生性子囊菌 <i>Hypomyces</i> について VII ○常盤俊之 ¹ ・広瀬大 ² (¹ (有)環境衛生検査センター; ² 日本大薬)
P018	Study on <i>Cordyceps</i> genus and its allies collected from Tay Nguyen Plateau, Viet Nam ○MH. Dinh ¹ , BN. Truong ² , HAT. Le ³ , DT. Lao ³ , TX. Vu ⁴ , T. Huynh ⁵ , HQ. Dang ⁶ . (¹ Agr. High-tech Park of Hochiminh City; ² DaLat Univ., ³ Hochiminh City Open Univ., ⁴ Univ. of Science Hochiminh City, ⁵ Univ. of Tech. Hochiminh City, ⁶ Biotech. Cen. of Hochiminh City)
P019	日本新産種 <i>Biscogniauxia maritima</i> の形態と生態 ○升屋勇人 ¹ ・服部力 ² (¹ 森林総研東北; ² 森林総研)
P020	北海道で採取されたアミガサタケ類について ○雲英真人・玉井裕・宮本敏澄・矢島崇(北海道大院農)
P021	東京湾表水層中の真菌類の検出:DNA 抽出方法の比較 ○福田有里 ¹ ・石田聖二 ¹ ・石井伸昌 ² ・鏡味麻衣子 ¹ (¹ 東邦大; ² 放医研)
P022	ブドウ科植物に寄生する3種の <i>Kuehneola</i> 属サビキン ○小野義隆(茨城大)
P023	Two new rust fungi (Pucciniales) on <i>Hoya</i> (Apocynaceae) and <i>Gynostemma</i> (Cucurbitaceae) from Thailand ○C. Ayawong ^{1,2} , J. Unartngam ² , Y. Ono ³ . (¹ Department of National Parks, Wildlife and Plant Conservation, Thailand; ² Kasetsart Univ., Thailand; ³ Ibaraki Univ.)
P024	属特異的プライマーによる本郷次雄標本の断片化した DNA 増幅の試み ○今村彰生 ¹ ・乾美浪 ² ・菊地淳一 ² ・脇村圭 ³ ・佐久間大輔 ³ (¹ 北教大旭川; ² 奈良教育大; ³ 大阪自然史博)
P025	日本で採取されているフウセンタケ属オオカシワギタケ節のきのこの比較 ○宮内信之助(新潟市)
P026	日本新産ヒトヨタケ類2種と石垣島で採集されたヒメヒトヨタケ属未知1種 ○吹春俊光 ¹ ・清水公德 ² ・寺嶋芳江 ³ ・金城典子 ⁴ (¹ 千葉県立中央博; ² 千葉大真菌センター; ³ 琉球大熱帯生物圏研究センター; ⁴ 東京医科歯科大)
P027	菌従属栄養植物モイワラン(ラン科)の菌根菌の同定 ○谷亀高広 ¹ ・船曳恵理子 ² ・遊川知久 ³ ・長澤栄史 ⁴ (^{1,3} 国立科博植物園; ² 鳥取大農; ⁴ 菌蕈研)
P028	A new pinecone fungus <i>Strobilurus luchuensis</i> sp. nov. (Physalacriaceae) from Yaeyama Archipelago, Okinawa, Japan NDH. Pham ¹ , H. Takahashi ² , Y. Taneyama ³ , K. Shimizu ⁴ , T. Fukihar ⁵ , Y. Terashima ⁶ . (¹ Biotech. Cen. of Hochiminh City; ² Okinawa, ³ Nagano, ⁴ Medical Mycol. Res. Cen., ⁵ Nat. His. Mus. and Int. Chiba, ⁶ TBRC Univ. of Ryukyus)
P029	日本産 <i>Henningsomyces candidus</i> の分類について ○中野遼 ¹ ・早乙女梢 ² ・中桐昭 ² ・前川二郎 ² (¹ 大阪府立園芸高; ² 鳥取大農)

P030	rDNA および形態学的特徴に基づいたクロハツ節 <i>Russula eccentrica</i> , <i>R. cantharellicola</i> とニセクロハツ近縁種との関係 ○下野義人・高松 進(三重大生資)
P031	ハイマツに共生する <i>Rhizopogon</i> の形態分類と分子系統解析 ○小泉敬彦・奈良一秀(東京大院新領域)
P032	小笠原諸島の絶滅危惧種であるシンジュタケ <i>Boninogaster phalloides</i> の分布と生態 ○保坂健太郎・南京沃(国立科博植物)
P033	琉球列島におけるシクエストレート菌の遺伝的分化—ホシミノタマタケ属菌の例 ○折原貴道(神奈川県博)
P034	スギ生立木腐朽を引き起こす <i>Physisporinus</i> 属菌とその近縁種の分子系統学的解析 ○太田祐子 ¹ ・服部力 ¹ ・早乙女梢 ² (¹ 森林総研; ² 鳥取大)
P035	国内産 <i>Physisporinus</i> 属菌の形態学的特徴 ○服部力 ¹ ・太田祐子 ¹ ・早乙女梢 ² (¹ 森林総研; ² 鳥取大農)
P036	水辺の材上に分生子柄束様構造を形成する菌の正体 ○中桐昭・柴田颯季・早乙女梢・牛島秀爾・前川二太郎(鳥取大農)
P037	日本産 <i>Polyporus tuberaster</i> の分類学的研究 ○大西一路 ¹ ・服部力 ² ・前川二太郎 ³ ・中桐昭 ³ ・霜村典宏 ³ ・太田祐子 ² ・早乙女梢 ³ (¹ 鳥取大院農; ² 森林総研; ³ 鳥取大農)
P038	公共の塩基配列データベースを使った菌類の同定に関して P. E. Jung ¹ , J. J. Fong ¹ , M. S. Park ¹ , W. D. Lee ¹ , S-Y. Oh ¹ , C. Kim, and Y. W. Lim ¹ . (¹ Seoul Nat'l Univ., Korea; ² National Institute of Biological Resources, Korea)
P040	日本産 " <i>Fomitiporella umbrinella</i> " の分類学的検討 ○早乙女梢 ¹ ・高本育治 ² ・服部力 ³ ・前川二太郎 ¹ ・中桐昭 ¹ ・中村仁 ⁴ (¹ 鳥取大農; ² 東京都中野区; ³ 森林総研; ⁴ 農研機構果樹研)
P041	<i>Sirostoma</i> 属の系統学的研究～属の中間形態は存在するのか ○山田宗樹・出川洋介(筑波大菅平)
P042	2011 年以降新たに観察された本邦産ハルペラ目菌類について ○佐藤大樹 ¹ ・出川洋介 ² ・稲葉重樹 ³ (¹ 森林総研; ² 筑波大菅平; ³ NBRC)
P043	カマドウマ科昆虫から得られるキクセラ目菌の多様性 ○陶山舞 ¹ ・出川洋介 ² (¹ 神奈川県博; ² 筑波大菅平)
P044	ゲジ目動物の糞生菌と推定される <i>Radiomyces</i> 属(ケカビ目)の未記載種 ○出川洋介 ¹ ・瀬戸健介 ¹ ・陶山舞 ² ・岩本祥明 ¹ ・山田宗樹 ¹ (¹ 筑波大菅平, ² 神奈川県博)
P045	珪藻寄生性ツボカビ目(ツボカビ門ツボカビ綱)の 1 新属 ○瀬戸健介・出川洋介(筑波大菅平)
P046	ツボカビ類液体培養菌株の凍結保存 ○稲葉重樹(NBRC)
P047	長野県菅平高原から確認されたプロトステリウム類の分類学的検討 ○岩本祥明 ¹ ・出川洋介 ¹ ・松本淳 ² (¹ 筑波大; ² 福井総合植物園)
P048	外生菌根菌ホンシメジ(<i>Lyophyllum shimeji</i>)の全ゲノム解析 ○小林裕樹 ¹ ・柴田朋子 ¹ ・山田明義 ² ・重信秀治 ^{1,3} ・西山智明 ⁴ ・長谷部光泰 ^{1,3} ・川口正代司 ^{1,3} (¹ 基生研; ² 信州大; ³ 総研大; ⁴ 金沢大)

P049	タマゴタケ類の自然宿主と外生菌根形態 ○遠藤直樹・山田明義(信州大農)
P050	琉球諸島のリュウキュウマツ林における外生菌根菌の埋土孢子群集 ○村田政穂 ¹⁾ ・山崎隼也 ¹⁾ ・寺嶋芳江 ²⁾ ・奈良一秀 ¹⁾ (¹⁾ 東京大院新領域; ²⁾ 琉球大熱帯生物圏研究センター)
P051	タイ北西部の熱帯性マツ属2種に共生する外生菌根菌の群集構造 ○栗山靖崇 ¹⁾ ・村田政穂 ²⁾ ・Pilunthana Thapanapongworakul ³⁾ ・Ampai Pornleesangsuwan ⁴⁾ ・Somchai Nongnuang ⁴⁾ ・Pongsak Chattecha ⁴⁾ ・Worapoj Khambai ⁴⁾ ・Ampan Bhromsiri ³⁾ ・奈良一秀 ²⁾ ・松田陽介 ¹⁾ (¹⁾ 三重大; ²⁾ 東京大院新領域; ³⁾ チェンマイ大; ⁴⁾ タイ北部森林研究所)
P052	アンズタケの菌根苗作成および子実体発生 ○小川和香奈 ¹⁾ ・遠藤直樹 ¹⁾ ・大橋光男 ²⁾ ・山田明義 ¹⁾ (¹⁾ 信州大農, ²⁾ KOA)
P053	ツツジ科植物イチヤクソウの実生に定着する菌根菌の種多様性 ○松田陽介 ¹⁾ ・横田宗之 ²⁾ ・上杉天志 ¹⁾ (¹⁾ 三重大院生資; ²⁾ 三重大生資)
P054	<i>Endogone</i> 属菌および <i>Sphaeroceas pubescens</i> における Mollicutes-related endobacteria の検出 ○高島勇介 ¹⁾ ・山本航平 ²⁾ ・瀬戸健介 ³⁾ ・出川洋介 ³⁾ ・成澤才彦 ⁴⁾ (¹⁾ 東京農工大連合農学; ²⁾ 信州大学振DC; ³⁾ 筑波大菅平; ⁴⁾ 茨城大農)
P055	菌従属栄養植物イリオモテムヨウランはカレエダタケ属「熱帯アジア分岐群」と特異的に共生する ○木下晃彦 ¹⁾ ・阿部篤志 ²⁾ ・佐藤裕之 ²⁾ ・辻田有紀 ³⁾ ・遊川知久 ¹⁾ (¹⁾ 国立科博植物園; ²⁾ 沖縄美ら島財団; ³⁾ 佐賀大農)
P056	菌従属栄養植物タカツランの菌根菌の特性評価: 菌根菌の木材分解能力および種子発芽誘導能力の評価 ○辻田有紀 ¹⁾ ・深澤遊 ²⁾ ・馬田英隆 ³⁾ ・遊川知久 ⁴⁾ (¹⁾ 佐賀大; ²⁾ 東北大; ³⁾ たかなべきのこ研; ⁴⁾ 国立科博)
P057	北海道南部に生育するラン科陰生植物の菌根菌相 小島広平・○玉井裕・矢島崇・宮本敏澄(北海道大院農)
P058	夏咲きおよび秋咲きネジバナで異なる菌根菌の共生発芽能力と初期成長促進能力 ○藤森祥平・阿部淳一・山岡裕一(筑波大生命環境)
P059	塩害土壌におけるトマト栽培への <i>Phialocephala helvetica</i> の利用 ○白井絵里香 ¹⁾ ・菊地聖永 ²⁾ ・成澤才彦 ³⁾ (¹⁾ 東京農工大連合農; ²⁾ パイオニアエコサイエンス(株); ³⁾ 茨城大農)
P060	海岸付近の砂質土壌で発芽育苗したカシワ実生の根部共生菌類 ○荒井洋樹・玉井裕・矢島崇・宮本敏澄(北海道大院農)
P061	根部エンドファイト <i>Phialocephala fortinii</i> BPC3 によるトマトへの Cs-137 移行の抑制 ○丸山剛 ¹⁾ ・坂上伸生 ²⁾ ・小松崎将一 ²⁾ ・成澤才彦 ²⁾ (¹⁾ 茨城大・院農; ²⁾ 茨城大・農)
P062	根部エンドファイト <i>Veronaeopsis simplex</i> に内生するバクテリアについて ○松岡勇人 ¹⁾ ・Rida Khastini ²⁾ ・成澤才彦 ³⁾ (¹⁾ 茨城大・院農; ²⁾ Sultan Ageng Tirtayasa Univ; ³⁾ 茨城大・農)
P063	菌類子実体内部から分離された <i>Burkholderia</i> 属菌について ○中西布美子 ¹⁾ ・成澤才彦 ¹⁾ (¹⁾ 茨城大農)
P064	茨城県内でヤエムグラの内生菌として分離された <i>Phlyctema</i> 属菌について ○三輪恵実・岡根泉・石賀康博・山岡裕一(筑波大生命環境)
P065	愛媛県の絶滅のおそれのある菌類 ○小林真吾(愛媛県総合科学博)
P066	大陸性南極の菌類群集組成: 環境制限と分散制限の相対的寄与の評価 ○大園享司 ¹⁾ ・広瀬大 ²⁾ ・松岡俊将 ¹⁾ ・田邊優貴子 ³⁾ ・内田雅己 ³⁾ ・工藤栄 ³⁾ (¹⁾ 京都大生態学研究センター; ²⁾ 日本大薬; ³⁾ 国立極地研究所)

P067	ブナ林における外生菌根菌群集の時空間変化 ○杉山賢子 ¹⁾ ・松岡俊将 ²⁾ ・大園享司 ²⁾ (¹⁾ 京都大理学部; ²⁾ 京都大生態研センター)
P068	大量塩基配列を用いたタイ熱帯季節林における土壌菌類相と多様性の解析 ○安間更紗 ¹⁾ ・東樹宏和 ²⁾ ・佐藤博俊 ³⁾ ・田辺晶史 ⁴⁾ ・Chongrak Wachrinrat ⁵⁾ ・Taksin Artchawacon ⁶⁾ ・神崎護 ¹⁾ (¹⁾ 京都大院農; ²⁾ 京都大院人環; ³⁾ 京都大生態研, ⁴⁾ 水研セ中央水研; ⁵⁾ カセサート大; ⁶⁾ サケラート環境研究ステーション)
P069	河岸岩上に生育するキシツツジに定着する根内共生菌の多様性 ○広瀬大 ¹⁾ ・伴琢也 ²⁾ ・小林伸雄 ³⁾ (¹⁾ 日本大薬; ²⁾ 東京農工大農; ³⁾ 島根大生物資源科学)
P070	クリプト菌門の共通性と特異性 — 西日本の淡水湖沼における菌類多様性— ○西尾早生 ¹⁾ ・阿賀由侑子 ¹⁾ ・藤井利江 ¹⁾ ・安井沙英 ¹⁾ ・六田早織 ¹⁾ ・島村繁 ²⁾ ・西真郎 ²⁾ ・小林英城 ²⁾ ・長濱統彦 ¹⁾ (¹⁾ ノートルダム清心大; ²⁾ 海洋研究開発機構)
P071	積雪初期と融雪期のリター分解菌群集の比較 ○宮本敏澄(北海道大院農)
P072	鳥取砂丘のクロマツ植樹帯に発生したショウロの遺伝的關係 ○阿部寛史・戸川奈保・松本晃幸(鳥取大農)
P073	西表島で採集した生葉から分離されたクロサイワイタケ科菌類と腐朽材上の同科菌類との分類学的比較検討 ○岡根泉・安藤裕萌・三輪恵実・藤森祥平・山岡裕一(筑波大生命環境)
P074	湛水直播した鉄コーティング水稻種子に表生した <i>Fusicolla acetilerea</i> ○森伸介・関口博之・高橋仁康・藤本寛・岡部昭典・野見山孝司・大崎秀樹・富岡啓介(農研機構近中四農研)
P075	洞窟で見つかった <i>Penicillium</i> 属のカビの分布と生態 ○浜田信夫(大阪市立自然史博)
P076	Isolation of Petroleum Degrading Filamentous Fungi in Iriomote (Japan) and Con Dao (Vietnam) Islands Cong D.P. Doan, Yoshi Terashima (Tropical Biosphere Research Center, University of the Ryukyus)
P077	中深層に生息する深海生物から分離された黒色酵母 ○角南玲子・藤原健史・島達也・西垣千夏・仲与根奈緒・宮里涼子・Ray Lam・松田友彦・Cleofe Calanasan・國吉杏子・平田美信・渡邊崇史・古賀啓太・倉場静子・栗原祐子・秋山清隆・福田保路・江藤讓・金本昭彦(オーピーバイオ)
P078	海洋環境から分離された <i>Engyodontium</i> 様糸状菌 ○栗原祐子・角南玲子・藤原健史・島達也・西垣千夏・仲与根奈緒・宮里涼子・Ray Lam・松田友彦・Cleofe Calanasan・國吉杏子・平田美信・渡邊崇史・古賀啓太・倉場静子・秋山清隆・福田保路・江藤讓・金本昭彦(オーピーバイオ)
P079	日本の海洋由来糸状菌類の化学的多様性 ○松田友彦・Cleofe Calanasan・國吉杏子・平田美信・藤原健史・Ray Lam・島達也・西垣千夏・仲与根奈緒・宮里涼子・角南玲子・渡邊崇史・古賀啓太・倉場静子・栗原祐子・秋山清隆・福田保路・江藤讓・金本昭彦(オーピーバイオ)
P080	水界の低酸素環境に生息する菌類の分離とその性状調査 ○足立陽子 ¹⁾ ・早乙女梢 ²⁾ ・前川二太郎 ²⁾ ・中桐昭 ²⁾ (¹⁾ 鳥取大院農; ²⁾ 鳥取大農)
P081	カラマツ林における大型菌類と菌食トビムシ類の相互作用ネットワークの構造 ○中森泰三・田中葵(横浜国立大学)
P082	分解性ツボカビがつながる花粉からミジンコへの流れ:第2の Mycoloop の検証 ○鏡味麻衣子 ¹⁾ ・本木安倫 ¹⁾ ・Alexandra Bec ²⁾ (¹⁾ 東邦大学; ²⁾ Université Blaise Pascal)

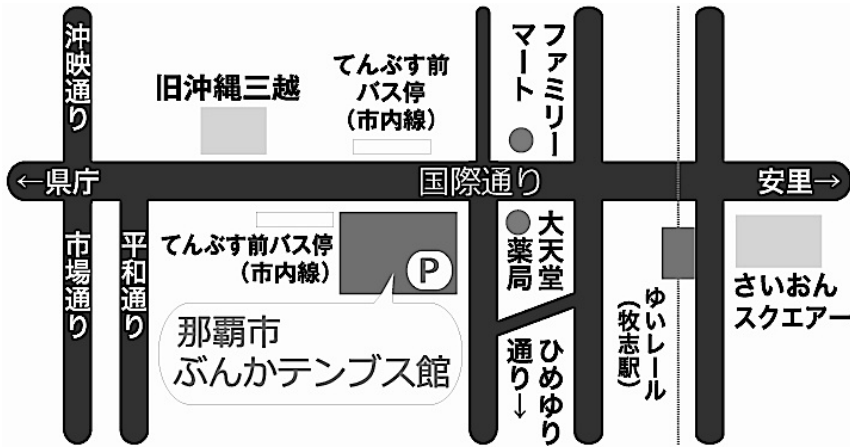
P083	関東地方のキシノウエタテグモ群集におけるクモタケの感染率 ○小林一樹 ¹ ・安藤裕萌 ² ・糟谷大河 ¹ ・柴原壽行 ¹ (¹ 千葉科学大危機管理, ² 筑波大院生命環境)
P084	外生菌根菌子実体内で生育するイエバエ科幼虫の摂食生態の研究 ○北林慶子・都野展子(金沢大自然科学)
P085	珪藻に付着する真菌類胞子嚢からの DNA 抽出による分子系統解析 ○野崎大貴・石田聖二・平野稚奈・鏡味麻衣子(東邦大理)
P086	小笠原諸島の菌類とその宿主(追補 3) ○佐藤豊三 ¹ ・小野剛 ² ・服部力 ³ (¹ 生物研, ² 東京農総研, ³ 森林総研)
P087	軟腐症状を呈して枯死したデイゴ枝から分離された <i>Fusarium</i> 属菌の病原性 ○亀山統一・諸見里穂高(琉球大農)
P088	モミサルノコシカケを接種したトマツ生立木における子実体の発生 ○山口岳広(森林総研北海道)
P089	茎枯・立枯症状のダイズから分離した <i>Phomopsis longicolla</i> Hobbs ○富岡啓介・野見山孝司・関口博之・大崎秀樹・竹原利明・山崎 諒・竹田博之・岡部昭典(農研機構近中四農研)
P090	Differences in disease severity of rice dirty panicle inoculated by fungal species in three genera: <i>Fusarium semitectum</i> , <i>Bipolaris oryzae</i> , and <i>Curvularia lunata</i> ○T. Sawatsuk ¹ , K. Bubpha ¹ , S. Korinsak ² , R. Dhitikiattipong ³ , J. Unartngam ¹ . (¹ Kasetsart Univ., ² National Science and Technology Development Agency, ³ Ministry of Agriculture and Cooperatives, Thailand)
P091	大阪府立大学構内のネジクチゴケから分離された新種の <i>Pythium</i> 属菌の形態, 分子的系統および植物病原性 ○東條元昭・植田翔子(大阪府立大学生命環境)
P092	表面疎水化人工培地における植物寄生菌の侵入・感染行動 ○田中栄爾(石川県立大学)
P093	<i>Hypomyces pseudocorticicola</i> によるアラゲキクラゲ綿腐病(新称)について ○奥田康仁 ¹ ・長澤栄史 ¹ ・常盤俊之 ² ・長谷幸一 ¹ ・村上重幸 ¹ (¹ 菌蕈研; ² (有)環境衛生検査センター)
P094	Metagenomic diversity of clinical fungi associated with Urban Pigeon Feces W. D. Lee, J. J. Fong, and Y. W. Lim. (Seoul Nat'l Univ., Korea)
P095	汎存種の真菌による農業用生分解性マルチフィルムの分解 ○小坂橋基夫・吉田重信・山下結香・渡部貴志・鎗水透・北本宏子(農環研)
P096	2014 年に採取した野生きのこの放射性セシウム濃度 ○小松雅史 ¹ ・渡部秀行 ² ・馬場崎勝彦 ¹ ・砂川政英 ¹ ・明間民央 ¹ ・佐橋憲生 ¹ ・服部力 ¹ ・根田仁 ¹ (¹ 森林総研; ² 福島県林業研究センター)
P097	茨城県および千葉県における野生きのこの放射性セシウム濃度の動向 ○大森茉耶 ¹ ・後藤康彦 ² ・桧垣正吾 ³ ・保坂健太郎 ⁴ ・糟谷大河 ¹ (¹ 千葉科学大危機管理; ² 菌類懇話会; ³ 東大 RIC; ⁴ 国立科博)
P098	福島県内における野生きのこの放射性セシウム濃度の動向(2014) ○広井勝 ¹ ・桧垣正吾 ² ・保坂健太郎 ³ ・後藤康彦 ⁴ ・野村貴美 ⁵ (¹ 郡山女子大; ² 東大 RIC; ³ 国立科博; ⁴ 菌類懇話会; ⁵ 東大)
P099	富士山の野生きのこに含まれる放射性セシウム濃度(2014) ○後藤康彦 ¹ ・桧垣正吾 ² ・保坂健太郎 ³ ・柴田尚 ⁴ ・広井勝 ⁵ ・野村貴美 ⁶ (¹ 菌類懇話会; ² 東京大 RIC; ³ 国立科博; ⁴ 山梨県森林研; ⁵ 郡山女子大; ⁶ 東京大)

P100	<i>Coleosporium</i> 属菌 2 種の冬胞子の発芽条件と冬胞子堆量 ○鈴木浩之 ¹⁾ ・高木悦郎 ²⁾ ・山岡裕一 ¹⁾ (¹⁾ 筑波大生命環境; ²⁾ 筑波大菅セ)
P101	<i>Mycena chlorophos</i> の発光の生態学的意義に関する研究 ○内藤将志 ¹⁾ ・田上陽介 ¹⁾ ・大場裕一 ²⁾ (¹⁾ 静岡大院農; ²⁾ 名古屋大院生命農)
P102	アラゲキクラゲ腐朽材に対するオオシロアリタケの腐朽特性 ○小野和子 ¹⁾ ・畑俊充 ¹⁾ ・吉村剛 ¹⁾ ・金城一彦 ²⁾ (¹⁾ 京都大生存研; ²⁾ 琉球大)
P103	ナラタケ(<i>Armillaria mellea</i>)の根状菌糸束形成条件の検討(予報) ○楠田瑞穂 ¹⁾ ・奥田佳那 ²⁾ ・上田光宏 ¹⁾ ・寺下隆夫 ¹⁾ ・白坂憲章 ²⁾ (¹⁾ 大阪府立大, ²⁾ 近畿大)
P104	ヒラタケクロラムフェニコール耐性変異株の核構成と子実体発育の関係 ○森恒暁 ¹⁾ ・松本晃幸 ²⁾ (¹⁾ 鳥取大院農; ²⁾ 鳥取大農)
P105	シイタケの原木栽培における子実体発生時期に関連する DNA マーカーの探索 ○寺島和寿・前田亜紗・長谷部公三郎((一財)日本きのこセンター菌茸研究所)
P106	<i>Tricholoma matsutake</i> の栄養菌糸成長期におけるセルラーゼ遺伝子の cDNA クローニング ○大沼広宜 ¹⁾ ・福田泰久 ¹⁾ ・楠田瑞穂 ²⁾ ・寺下隆夫 ¹⁾ ・白坂憲章 ¹⁾ (¹⁾ 近畿大農応生化; ²⁾ 大阪府大生命応生化)
P107	<i>Tricholoma matsutake</i> 由来 β -xylosidase の精製と cDNA クローニング ○亀井健吾 ¹⁾ ・福田泰久 ¹⁾ ・楠田瑞穂 ²⁾ ・寺下隆夫 ¹⁾ ・白坂憲章 ¹⁾ (¹⁾ 近畿大院農; ²⁾ 大阪府大)
P108	マツタケのフェニルアラニンアンモニリアーゼ遺伝子の構造と発現 ○田崎裕二・宮川駿人・大口かんな・羽二生真弥(国立高専機構長岡高専)
P109	<i>Lentinula edodes</i> 由来菌体外酸性プロテアーゼの遺伝子クローニング ○福田泰久・松下朋加・寺下隆夫・白坂憲章(近畿大)
P110	<i>Agaricus brasiliensis</i> 由来新規 laccase 様遺伝子のクローニング ○松本明子 ¹⁾ ・赤沼哲史 ²⁾ ・元井益郎 ³⁾ ・大野尚仁 ¹⁾ (¹⁾ 東京薬大; ²⁾ 早稲田大; ³⁾ 東栄新薬)
P111	トキイロヒラタケ(<i>Pleurotus salmoneostramineus</i>)由来色素タンパクの構造解析 ○藤井陽介 ¹⁾ ・山口裕加 ¹⁾ ・白坂憲章 ¹⁾ ・福田泰久 ¹⁾ (¹⁾ 近畿大農)
P112	元素組成と安定同位体比分析による実用的な乾シイタケの原産地判別法 ○時本景亮 ¹⁾ ・田淵諒子 ¹⁾ ・作野えみ ¹⁾ ・鈴木彌生子 ²⁾ ・中下留美子 ³⁾ (¹⁾ 菌茸研; ²⁾ 農研機構食総研; ³⁾ 森林総研)
P113	ヒゲカビ“雑種”ヘテロカリオンのDNAレベルにおける検定 佐々木隆彦・○宮寄厚(石巻専大理工生物)
P114	<i>Fusarium</i> 属菌から見出された新規菌類ウイルス ○大崎秀樹 ¹⁾ ・佐々木厚子 ²⁾ ・野見山孝司 ¹⁾ ・関口博之 ¹⁾ ・富岡啓介 ¹⁾ ・竹原利明 ¹⁾ (¹⁾ 近中四農研; ²⁾ 果樹研究所)
P115	<i>Pythium aphanidermatum</i> のマイクロサテライトマーカーの作出 ○景山幸二 ¹⁾ ・大坪佳代子 ¹⁾ ・須賀晴久 ²⁾ (¹⁾ 岐阜大流域研セ; ²⁾ 岐阜大生命セ)
P116	<i>Phytophythium helicoides</i> のマイクロサテライトマーカーの作出 ○村山恵未来 ¹⁾ ・大坪佳代子 ¹⁾ ・須賀晴久 ²⁾ ・景山幸二 ¹⁾ (¹⁾ 岐阜大流域研セ; ²⁾ 岐阜大生命セ)
P117	Cloning of single chain variable fragment specific to aflatoxin from hybridoma clone C10 ○J. Phatsaman, R. Hongprayoon (Kasetsart Univ., Thailand; Center for Agricultural Biotechnology, Thailand)
P118	<i>Aspergillus luchuensis</i> と <i>Rhizopus oryzae</i> の混合培養によるグルコアミラーゼ生産 ○井菜々子 ¹⁾ ・二宮純子 ¹⁾ ・森田洋 ²⁾ (¹⁾ 北九大院・国際環境工; ²⁾ 北九大・国際環境工)

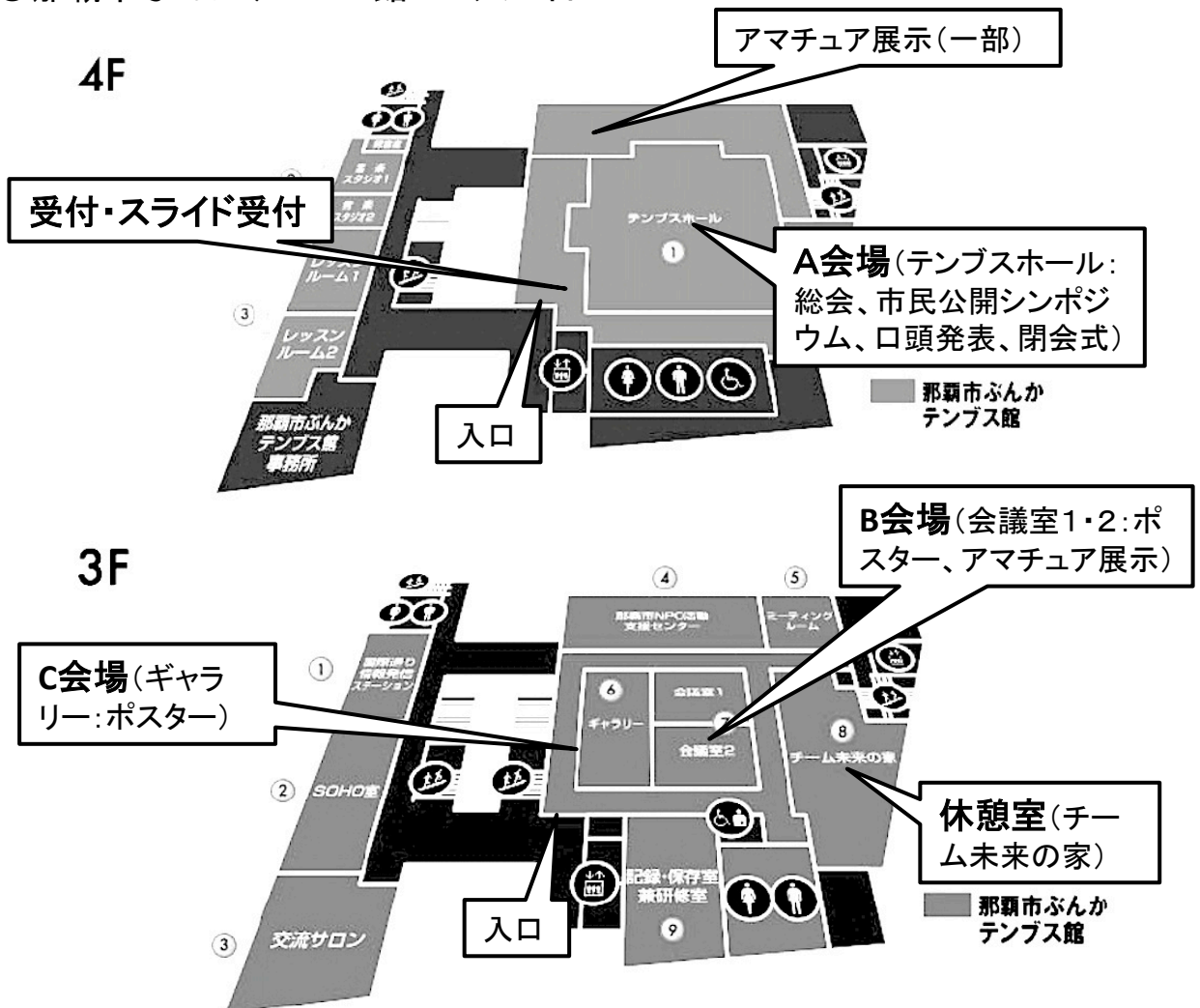
P119	<i>Rhizopus oryzae</i> と <i>Aspergillus oryzae</i> の混合培養による酵素活性の変化 ○竹藤春香 ¹⁾ ・佐藤由加衣 ¹⁾ ・二宮純子 ¹⁾ ・森田洋 ²⁾ (¹⁾ 北九州市立大院国際環境工; ²⁾ 北九州市立大国際環境工)
P120	北里微生物ライブラリーの構築:物質生産糸状菌の保存性と物質生産能 ○三浦広美・中島琢自・松本厚子・野中健一・増間碌郎・高橋洋子・大村智(北里大生命研)
P121	Investigation of fungal extracts for antioxidant properties from fungi isolated from brown algae, <i>Sargassum</i> sp. in Korea ○M. Min, J.-H. Hong, S. Jang, J.-J. Kim (Korea Univ.)
P122	Screening of marine fungi isolated from brown algae, <i>Sargassum</i> sp. in Korea for cellulase and antioxidant activity ○Y.M. Heo, S. Jang, M. Min, Y.-H. Jung, J.-H. Hong, H. Lee, Y.M. Lee, J.-J. Kim (Korea Univ.)
P123	海洋環境由来糸状菌類の生物活性スクリーニング ○藤原健史・栗原祐子・西垣千夏・仲与根奈緒・宮里涼子・角南玲子・島達也・倉場静子・松田友彦・Cleofe Calanasan・国吉杏子・平田美信・渡邊崇史・古賀啓太・江藤謙・Ray Lam・秋山清隆・福田保路・金本昭彦(オーピーバイオ)
P124	糸状菌が生産する赤痢アメーバ特異的システイン生成経路阻害物質 ○酒井一成 ¹⁾ ・森美穂子 ^{1, 2)} ・柘植聡志 ¹⁾ ・野中健一 ^{1, 2)} ・増間碌郎 ^{1, 2)} ・野崎智義 ³⁾ ・塩見和朗 ^{1, 2)} ・大村智 ²⁾ ・ (¹⁾ 北里大院感染制御; ²⁾ 北里大生命研; ³⁾ 感染研)
P125	海洋島由来糸状菌の新規化合物生産菌としての有用性 ○野中健一・岩月正人・塩見和朗・大村 智・増間碌郎(北里大・生命研)
P126	漢方薬が <i>Aspergillus nidulans</i> の第二次代謝産物に与える影響 ○井上信宏 ¹⁾ ・若菜大悟 ¹⁾ ・武田尚 ¹⁾ ・矢口貴志 ²⁾ ・細江智夫 ¹⁾ (¹⁾ 星薬大; ²⁾ 千葉大真菌医セ)
P127	イリオモテボタル <i>Rhagophthalmus ohbai</i> (鞘翅目: オオメボタル科)の抗菌性化学防御物質 ○細江智夫 ¹⁾ ・斎藤貢一 ¹⁾ ・市川誠 ¹⁾ ・矢口貴志 ²⁾ ・大場信義 ³⁾ (¹⁾ 星薬大; ²⁾ 千葉大真菌医セ; ³⁾ 大場蛭研究所)
P128	An UV mutant of <i>Pichia stipitis</i> with increased ethanol production from black liquor and selection of a mutant with increased organic acid tolerance H. J. Ahn ¹⁾ , B. J. Yu ¹⁾ , B. H. Um ²⁾ , ○J. J. Yoon ¹⁾ . (¹⁾ Korea Institute of Industrial Technology (KITECH); ²⁾ Hankyong National University)
P129	脂肪酸塩および脂肪酸によるアカントアメーバの制御 ○増田愛実 ¹⁾ ・恵良真理子 ¹⁾ ・川原貴佳 ²⁾ ・完山陽秀 ²⁾ ・森田洋 ³⁾ (¹⁾ 北九州市立大院国際環境工; ²⁾ シャボン玉石けん(株); ³⁾ 北九州市立大国際環境工)
P130	クロカワカビとコナヒョウヒダニに対する脂肪酸カリウムの効果 ○奥野結衣 ¹⁾ ・恵良真理子 ¹⁾ ・川原貴佳 ²⁾ ・完山陽秀 ²⁾ ・森田洋 ³⁾ (¹⁾ 北九州市立大国際環境工; ²⁾ シャボン玉石けん(株); ³⁾ 北九州市立大国際環境工)
P131	海洋性発光細菌 <i>Allivibrio fischeri</i> を利用した毒性検査 ○長浜千夏 ¹⁾ ・桑原眸 ¹⁾ ・二宮純子 ¹⁾ ・森田洋 ²⁾ (¹⁾ 北九州市立大院; ²⁾ 北九州市立大)

○那覇市ぶんかテンプス館へのアクセス

那覇空港から那覇都市モノレールで16分 牧志駅下車
 牧志駅から徒歩5分



○那覇市ぶんかテンプス館フロアガイド



○沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハへのアクセス

那覇市ぶんかテンプス館から： 徒歩15分(なかよし通り経由) タクシー8分

那覇空港から： 那覇都市モノレールで14分 見栄橋下車 見栄橋から徒歩 9分

国際通りは、日曜日 12:00~18:00 まで歩行者天国になります。
歩行者天国実施時間帯の迂回路はココです。

沖縄かりゆしアーバンリゾート・
ナハ(懇親会場)

那覇市ぶんかテンプス館
(大会会場)

